一般社団法人
宮城県私立幼稚園連合会

宮私幼だより vol.144

森のこども園新園舎外観

認定こども園　宮城学院女子大学附属幼稚園

巻頭言

子どもたちにとって楽しかった夏休みも終わり、二学期が始まりました。認定こども園や保育園、預かり保育を利用している子どもや職員にとっても楽しい夏休みがあったことと思います。一人一人と向き合い、思い出話から信頼関係がつくれればと願っております。

地区ごとの設置者・園長研修会も終わりました。来年度の初任給や保育料の話題とともに、人材不足の対応策も話題になりました。各園から初任給等の調査を行った結果も資料として配布いたしました。来年度の園児募集、求人募集の参考になれば幸いです。

７月に行われた、養成校と宮私幼役員との懇談会では、実習生の受け入れについてもさまざまな意見が出されました。幼稚園に就職したいと思わせるような実習指導ができれば人材不足の解消にもつながるということで、引き続き、時期や実習内容等について意見交換をしてまいりたいと考えております。

来年の東北地区教員研修大会が宮城県で行われることになりました。期日は平成 29 年９月１日、２日。公開保育は塩釜・多賀城・利府・七ヶ浜地区の私立幼稚園 10 園に引き受けていただきました。全体会は多賀城市文化センターで行います。県内の私立幼稚園の先生方の参加協力をお願い申し上げます。

宮私幼理事長　村 山 十 五

Close・up 理事会

平成28年度宮私幼理事会の概要（４月～８月）

【第１回理事会】
日　　時　平成28年５月16日（月）午後２時～
場　　所　宮私幼会議室
議　　事
(1) 平成28年度第１回定時総会の議案について
　第１号議案　平成27年度事業報告について
　第２号議案　平成27年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計・受託事業決算報告並びに監査報告ついて
　第３号議案　役員の改選について
(2) 報告事項について
　①　「東日本大震災義援金」及び「台風18号による宮城豪雨義援金」の状況について
　②　養成校・就職希望学生へのパンフレット作成について
(3) 第１回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について
そ の 他
(1) 熊本地震の義援金状況について
(2) 今後の予定について
【第２回理事会】
日　　時　平成28年５月27日（金）
　午後２時40分～２時50分
場　　所　東京エレクトロンホール宮城603会議室
議　　事
(1) 平成28年度第１回定時総会で新役員が選任され、承認されたのでこれを受け、定款第23条第２項による平成28年度・平成29年度の理事長、副理事長、常任理事（委員長）の選定
(2) 委員会の担当について
【第３回理事会】
日　　時　平成28年６月６日（月）午後４時～
場　　所　宮私幼会議室
議　　事
(1) 平成28年度の新体制について
　○役員分担の確認【理事長・副理事長・常任理事・委員会・地区会】
　○広報委員会について
　○特別委員会について
　○研究協力委員について
(2) 東北地区教研大会（宮城大会）実行委員会について
(3) 平成28年度宮私幼教育振興大会・第45回宮私幼ＰＴＡ研修大会について
　○平成28年７月15日（金）会場:東京エレクトロンホール宮城
　○第１部　振興大会
　○第２部　研修大会　演奏「モンゴル民族音楽の調べ」
(4) 地区運営費・地区研修費・実技講習会費について
そ の 他
　①　熊本地震の義援金状況について
　②　今後の予定について
【第４回理事会】
日　　時　平成28年８月２日（火）午後２時～
場　　所　宮私幼会議室
議　　事
(1) 平成29年度東北地区教員研修大会（宮城大会）について
　①　旅行会社の選定
　②　実行委員会の組織図
　③　その他の確認事項
(2) 各委員会４月～７月の事業活動状況報告について
(3) 地区別設置者・園長会議について
(4) 養成校との懇談会の報告について
報告事項
(1) 次年度の振興大会の会場について
(2) 幼保連携型認定こども園ゆりかご幼稚園・ゆりかご保育園の退職手当資金の給付（掛金返還）について
そ の 他
今後の日程について

事務局だより

○関係機関団体
5/11　幼稚園等新規採用教員研修会（県総合教育センター）
5/16　仙私幼ＰＴＡ連合会総会（仙台市民会館）
5/19　仙私幼総会（旭ヶ丘市民センター）
5/20　第３回宮城県教育振興審議会（宮城県行政庁舎）
5/30　宮私幼ＰＴＡ連合会総会（仙台市民会館）
6/29　県新任研、10年研（県総合教育センター）
7/21　県新任研（県総合教育センター）
7/27　私学審議会
8/1　幼稚園教育課程宮城県研究協議会（宮城県行政庁舎）
　県新任研、10年研（県総合教育センター）
8/3～4　特別支援教育早期支援研修会（県総合教育センター）
8/9　仙私幼設置者・園長会議（旭ヶ丘市民センター）
8/10　県新任研（県総合教育センター）
8/19　県新任研、10年研（県総合教育センター）

○全日私幼連
4/21　東北地区会監査会連絡協議会（福島）
4/26　常任理事会（東京）
5/9　各地区地区長会議（東京）
5/24　定時総会（東京）
6/3　公開保育コーディネーター養成講座（東京）
6/13　ＰＴＡ連合会全国大会（東京）
6/16　第24回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会〈青森大会〉
6/17　第１回全日私幼連東北地区会、東北地区教育研究担当者連絡協議会（青森県）
7/30～31　免許状更新講習＜第1回・必修・選択必修＞（東京エレクトロンホール宮城）
8/6　東北地区団体長会議（宮私幼事務局）
8/18～19　幼児教育実践学会（東京）
8/19　公開保育コーディネーター（評価者）養成講座（福島）
8/19～20　第31回東北地区会私立幼稚園教員研修大会（福島大会）
8/20　免許状更新講習＜第２回・選択＞（東京エレクトロンホール宮城）
8/21　免許状更新講習＜第３回・選択＞（東京エレクトロンホール宮城）

○宮私幼のあゆみ
4/6　広報委員会
4/19　研究委員会
4/26　東北地区教研大会打合せ
5/2　総務・給付委員会
5/11　塩釜地区園長会・東北地区教研大会代表者会議（多賀城市文化センター）
5/13　常任理事会、総務・給付委員会合同会議
5/16　決算監査会、理事会
5/18　推薦委員会
5/20　研究委員会
5/27　設置者・園長研修会、定時総会、理事会（東京エレクトロンホール宮城）
6/6　理事会
6/7　総務・給付委員会
6/14　常任理事会
6/21　経営委員会
6/22　研究委員会、地区研修担当者連絡会、教育研究発表大会分科会発表園打合せ会
6/27　広報委員会
6/28　経営委員会
7/4　養成校との懇談会（仙台ガーデンパレス）
7/5　研究委員会、教員研修会話題提供園打合せ会
7/7　経営委員会
　塩釜地区公開保育担当者会議（多賀城市文化センター）
7/8　研究委員会
7/13　総務・給付委員会
7/15　教育振興大会・ＰＴＡ研修大会（東京エレクトロンホール宮城）
　研究委員会
7/26　ファシリテート研修会（東京エレクトロンホール宮城）
7/27　未満児保育研修会（東京エレクトロンホール宮城）
7/28　10年経験教員研修会〈特別支援研修会〉（東京エレクトロンホール宮城）
　全国造形教育研究大会打合せ会
7/29　経営委員会
8/2　理事会、総務・給付委員会
8/5　教育要領研修会（東京エレクトロンホール宮城）
8/9　園内研修の進め方研修会（東京エレクトロンホール宮城）
　仙台地区設置者・園長会議（旭ヶ丘市民センター）
8/10　塩釜地区設置者・園長会議（多賀城市：ホテルキャッスルプラザ多賀城）
8/17・18　新任教員研修会（東京エレクトロンホール宮城）
8/22　大崎地区設置者・園長会議（大崎市：芙蓉閣）
8/23　気仙沼・登米地区設置者・園長会議（南三陸町：南三陸ホテル観洋）
8/24　石巻地区設置者・園長会議（石巻市：ひばり幼稚園）
8/25　名取・岩沼地区設置者・園長会議（岩沼市：岩沼南こばと幼稚園）
8/26　仙南地区設置者・園長会議（柴田町：熊野幼稚園）

○慶　弔
5/5　稲富　將夫　氏（矢本はなぶさ幼稚園　前園長）ご逝去

新園長紹介

子ども達と共に

長浜幼稚園・万石浦幼稚園

園　長　後藤竜記（ごとうたつのり）

はじめまして、私この度学校法人渡波学園（長浜・万石浦幼稚園）の園長に就任致しました後藤竜記です。私の祖父、叔父、父が在任中は、大変お世話になり、ありがとうございました。そして長浜幼稚園被災の折には多くの方々からのご支援を頂きまして心から感謝申し上げます。

４月からの就任となり、前任の園長が急病ということもあり、覚悟もままならない状況だったのですが、私にとりましてはとても大変でした。しかし、子ども達は大人の考えとは違い、その状況を知ってか知らずか、順応性は早いもので何とか私を受け入れてくれたのです。以前から園長室は登園時間の早い子ども達がやって来たりして、にぎやかであったのは知っていました。昨日あったこと、不思議に思ったこと、聴いてほしいことなど、何かと理由をつけては、スキンシップを求めて遊びに来ていたのでした。

さて、私も園長の椅子に座ってみると、初めのうちは「あれ？ちがう。」「男の人？」と怪訝そうな表情でドアを閉めて行きましたが、日を追うごとに「この人園長先生なんだ。」と納得してからは、やはり元通り遊びに来ては折り紙でハートを作ったものを届けにやって来ます。私もつい嬉しくなって笑顔です。そんな子ども達には垣根をつくってはいけないと思うようになりました。園長も一人の人間として、保育者として共感し、認め合う関係でいることの大切さを学んだ気がしています。

園長としてはまだまだ未熟ではありますが、できるだけ子ども達の中に入り、姿を観察しながら思いを受け止め、一緒に楽しめる幼稚園経営を心がけて行こうと思います。今後共皆様方のご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

幼児教育の新たな道を目指して

認定こども園宮城学院女子大学附属幼稚園

園　長　沢田石道子（さわだいしみちこ）

今年度から宮城学院女子大学の附属幼稚園長として勤務しております、沢田石道子です。私は、宮城学院を卒業後、南光幼稚園に勤務しました。当時、村山十五先生からの幼稚園の保育、研究について厳しくご指導いただいたことを懐かしく思い出します。退職後、しばらくして公立保育所の子育て支援の現場で働き、現在の社会で必要とされている保育事情を理解することが出来ました。その後、鶴ヶ谷幼稚園に併設され開園した鶴ヶ谷マードレ保育園で主任・園長として働きました。２年前、宮城学院では幼保連携のこども園の開園に向けて未満児保育経験者を必要としていました。更に幼稚園教諭としての経験、加えて保育園園長としての経験者を求めていた時に私に声がかかり、昨年度は副園長として勤務していました。様々な保育現場で働いた私が、長い時を経て母校で働けることを幸せに思います。

宮城学院女子大学は間もなく創立130周年を迎えますが、その記念の年に附属幼稚園は11月１日から「森のこども園」として体制も名称も変わる事になりました。いよいよ、０歳児～２歳児が入園して未満児保育も始まります。大学構内に残る自然豊かな環境は、子どもたちの感性を豊かにし、キリスト教主義に則った教育は、人間として大事にしなければならない規範を乳幼児期から育んでいくと思います。加えて、保護者の就労形態に関係なく、子どもを入園させたい幼児教育施設を選ぶことができることに「こども園」の魅力があると思います。幼稚園からこども園に新たな一歩です。これからもどうぞよろしくお願い致します。

平成28年度 設置者・園長研修会/第１回定時総会

平成28年５月27日（金）　会場：東京エレクトロンホール宮城

設置者・園長研修会

初めに、鎌田文惠副理事長が挨拶をし、「次世代の子どもを育てる私たちは、研修を重ねることが大切です。」と述べられました。

「同僚性について～愛されて育つ子ども～」と題して、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構副理事長であけぼの幼稚園園長（大阪府）の安家周一先生にお話ししていただきました。

（以下要約）

昨年度より子ども新制度が施行され「保育の検証」が必要な時代である。保育所、認定こども園、私立幼稚園……と就学前施設が多岐にわたり、保護者は何を選べばいいのかわからない状態である。社会的資本である私たちも立ち止まって考えることが大切である。子どもの最善の利益を守ることが幼稚園の命題であり、建学の精神よりも大切である。子どもの権利には４つの段階がある。第１段階は、子どもの命や健康、成長、発達が脅かされないこと。第２段階は、子どもへの差別、偏見、蔑視が成されないこと。第３段階は、子どものニーズ、思い、願いを無視、軽蔑されないこと。第４段階は、子どもの意見を確かめるように促されること。このような段階を経て、家庭の中で民主主義の基本が身につき、社会性の芽生えに繋がる。

発達心理学者ワロンの言葉に「他者（保護者）によって私になる」とある。信じる人に出会うということは、信じたい人に反抗するということであり、自立のための依存と反抗を繰り返しながら自立に向かう。聞き分けが良い子は自立が難しい。大人が子どもに働きかけるということは、同時に子どもから働きかけられるということであり、子どもに働きかけられながら、子どもに働きかけ、それによって子どもの発達を促し自らも発達していく。話し合いながら進めること（アクティブ・ラーニング）が同僚性である。

同僚性とは……教員集団で相互に助け合う関係で、同僚教師の援助や助言が極めて大きな役割を果たす。指導不足の教師を生まないために、援助が重要である。良いところを探し、如何にタフなティーム作りをするか。また、保護者との関係と育ちあいも同僚性である。

ティーム「○○幼稚園」勝利への道として、ポジションが決まっている野球ではなく、キーパーも攻撃に加わることがあるサッカーの試合を開始しよう。園長は選手と一緒に汗を流すプレイングマネージャーで、理事長は監督である。園長と教師の関係性が離れると、アドバイスが叱責と受けとめられる。

第１回総会

総会に先立ち、５月５日に逝去された矢本はなぶさ幼稚園前園長稲富将夫先生に黙祷を捧げました。

開会後、村山理事長が、挨拶で「昨年から施行された子ども新制度により、全国で約28％の幼稚園が認定こども園に移行しました。５月24日に幼児教育振興法を衆議院に提出し、次の臨時国会で承認されます。また、熊本地震での県内私立幼稚園の被害状況がやっとあきらかになり、第一次見舞金として150万円を送金しました。」と述べられました。来賓の私学文書課中村今日子課長から「東日本大震災からの復興が着実に進んでいることを実感しています。仮園舎で活動していた南三陸町のあさひ幼稚園が、今秋から新園舎で新しい一歩を踏み出します。これからも安心して学べる教育環境を築き上げていくため全力で取り組んでいきますので、一層のご理解とご協力をお願いします。」と述べられました。

次に宮私幼ＰＴＡ副会長（お人形社幼稚園園長）横澤行夫先生から「私学文書課のご尽力により、私学助成金が前年度より1.4％増となりました。」と報告をかねてご祝辞をいただきました。

議長として、桜木花園幼稚園の鎌田順子先生とエコールノワール幼稚園の佐々木拓真先生が指名され、議事録署名人としてお人形社幼稚園の横澤行夫先生と石巻みづほ幼稚園の津田廣明先生が選出されました。議事は議案書に基づいて進行され、第１号議案平成27年度事業報告、第２号議案平成27年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計・受託事業決算報告並びに監査報告が一括審議され、異議なく承認可決されました。第３号議案役員改選は、出席者全員投票により執行部案が承認され、別室で協議の結果、理事長・副理事長・各役員が選出され、異議なく承認可決されました。その後、平成29年度東北地区教員研修大会

＜宮城大会＞の担当が塩釜地区に決定したとの報告があり、佐藤宏郎副理事長の「この厳しい環境を乗り越えましょう。子どもの教育の行方は家庭教育にあります。」との閉会のことばで、議事の一切を終了しました。

（小川せつ子）

平成28年度宮城県私立幼稚園教育振興大会
第45回宮城県私立幼稚園ＰＴＡ研修大会

大会スローガン：「次代（あす）を担う子どものために」　～　子育ては、親と地域と幼稚園　～

平成 28 年 7 月 15 日（金）　午前 10 時 30 分～ 12 時 20 分　会場：東京エレクトロンホール宮城

大会スローガンを「次代（あす）を担う子どものために」～子育ては、親と地域と幼稚園～と題して宮私幼とＰＴＡ連合会が共催で執り行われた。

第一部振興大会

宮私幼村山十五理事長から、これから夏休みに入りますが早寝早起きの習慣を崩さず生活をして欲しい。認定こども園などでは休みの間も休みと休みではない子どもに分かれるなど幼児教育を取り巻く環境が様変わりしつつあります。現在県下では28,445名の子どもたちが私立幼稚園に在籍しており、今後も全ての子どもにより良い教育ができますようご協力をお願いしたいとあいさつを締められました。

宮私幼ＰＴＡ渥美巖会長より幼児期の教育は人格の形成に欠かせないものであること、ＰＴＡ連合会では環境・先生・負担軽減を３つの柱として、さらに税投入格差３倍の是正に努めていることを話されました。

ご来賓として村井嘉浩県知事の代理山田副知事により、復興に向けても人間形成の基礎として幼児教育の重要さを話されました。文部科学省でも新制度の検討がなされており、より良い教育環境の形成に県としても宮私幼やＰＴＡ連合会と手を携えて取り組みたいとのご祝辞を代読されました。

続いて、中山耕一宮城県議会議長より先生方の子どもたちへの指導助言が心強いこと、「みやぎこども・子育て県条例」を新たに作られたこと、幼児教育のますますの発展を話され、ご祝辞を頂きました。

また、宮私幼高橋潤理事と宮私幼ＰＴＡ副会長安田晴奈さん（塩釜ひまわりＰ）により大会宣言として、次代を担う子どもたちの心豊かな成長、公的助成や負担軽減による幼児教育の振興、復興と安心安全な地域社会作りを目指すこと、などが読み上げられ満場一致で採択されました。

第二部研修大会

近年モンゴルにゲル式の幼稚園を整備するなど交流を続けている「みやぎモンゴルの子ども達を応援する会」から交流の一環として、モンゴル民族音楽アンサンブルユニット「モリトン　モンゴル」に演奏していただきました。馬頭琴・ホーミー（低高音を同時に操りながら歌う）・パーカッションなどを使い壮大な草原の風景を十二分に思い起こさせるモンゴル音楽の調べを届けて頂きました。

以上のように、多数のご来駕を賜り盛会のうち、次代を担う子どもたちの為に家庭と地域社会、行政、幼稚園が強く手を携えて進めるよう確認した大会でした。

（清野　英俊）

平成28年度　養成校との懇談会

平成28年７月４日(月)　　会場：仙台ガーデンパレス

去る７月４日、県内及び近県の養成校合わせて15校に参加いただき、「平成28年度養成校との懇談会」を開催しました。今年度の養成校との懇談会では、まず宮私幼として、幼稚園を取り巻く採用事情を「ようちえん白書」ならびに県内の幼稚園の見学会を取りまとめた「幼稚園等見学の案内」に基づき、説明がなされました。昨年に引き続き、幼稚園教諭採用については、幼稚園側にとっては厳しい状況であるのは周知の通りですが、

どうしても待機児童解消策として増設される保育所に就職先としての希望が行きがちな状況に採用難、人材確保の厳しさを実感している業界の実情を養成校にご理解いただきました。

このような昨今の状況を踏まえ、今回の懇談会では、宮私幼出席者と養成校の代表とが率直に意見交換が出来て、問題解決が図れるようにとＫＪ法（ブレーンストーミングによって得られた情報・意見を整序し、問題解決に結び付けるための方法）によるワークを通じて、様々な意見交換がなされました。意見交換では、学生から見た幼稚園教諭のイメージとしてピアノが上手でなければならない、１人担任が不安である、指導案などの書き物に時間を取られる、職場内外でのコミュニケーションがうまく取れないなどの意見が多く寄せられました。また、

ポジティブな意見としては、教育実習までは漠然とした先生としての仕事が実習を通してより明確な憧れの職業としてイメージでき、進むべき進路が明確になった、また子どもとともに成長できる幼稚園の先生という職業の素晴らしさに気づいた等、嬉しい意見も多く聞かれました。ＫＪ法でのワークを通して、例年よりも深く意見を交わせたことは、今後の課題を明確にし、双方で共通理解できる機会となり、大きな収穫でもあったと思われます。職場での待遇面や人間関係、労務管理の面、またやりがいや達成感の持たせ方など各園において違いはあるものの幼稚園業界として学生から見て、魅力ある幼稚園づくりは喫緊の課題であり、有能な人材確保に向けての働き掛けがいかに大切であるか再認識した懇談会となりました。宮私幼としては、今後とも養成校との連携を深め、幼稚園教諭を目指す有能な学生の確保に向けた対応を協議検討してまいります。　　**（高橋　潤）**

平成28年度　委員会だより（4月～8月）

総務・給付委員会報告

総務・給付委員長　　吉　岡　弘　宗

今年度新たな役員構成となりました。総務給付委員会メンバーは、安藤義憲（熊野幼）・目黒義仁（ひばり幼）・清野英俊（東岡幼）・そして私・吉岡（岩切東光第二幼）といった前期と同じ構成メンバーです。更なる仕事内容を吟味・検討していけるように考えています。お気づきの事・連合会に要望事項があれば、遠慮なしにご連絡ください。反面皆様に協力願いたい事もあります。宮私幼からの文書類は必読頂きたいと思います。提出物には期限がありますので、遅れないように提出願います。委員会メンバーとは、毎月定例会のように集まりを設けて、確認をとっています。宜しくご理解・ご協力をお願いします。

「ようちえん白書」を毎年発刊していますが、どのように活用されているか気になっています。

新しい認定こども園制度になりますと、完全に各市町村単位の公定価格評価ができてきます。各幼稚園事情が各市町村間での評価格差に繋がらないようにしていきたいと考えています。「ようちえん白書」が連合会の組織・運営内容だけでなく、各加盟園皆様の『幼稚園理解』に繋がればと考えています。まだまだ不足している点があるかと思いますが、「ようちえん白書」が『幼稚園理解白書』になるように今年度も進めていきます。

来年度は、【東北地区教研大会】が塩釜地区で実施されます。大会組織運営・会計管理等にも、しっかり努めていかなければと考えています。皆様にとっては、大会参加が当たり前の気持ちになってくれることを願います。

いま幼稚園教育で変わって欲しいのが、『教育の良質への転換』です。研修・研鑽・学習の場として、みんなで盛り上げていけると良いですね。

経営委員会報告

経営委員長　末屋保広

８月に下記日程で行われました地区別設置者・園長会議には、各園の皆様にご参加いただきまして、ありがとうございました。年に一度、各地区の実情を把握し、宮私幼として今後の課題を明確にしていくための重要な会議です。今回は、①経営委員会より先般の経営実態調査の集計結果を踏まえて、平成29年度の園児募集、新卒初任給、保育料について、②総務・給付委員会より『ようちえん白書』の活用方法など、③研究委員会より養成校との懇談会の報告、④広報委員会より宮私幼だよりの発行、宮私幼ホームページのリニューアル後の活用推進について、といった議題を中心に会議が進められました。各地域の事情や条件などの違いもありましたが、今回の会議が各園の健全な運営の一助となれば幸いです。また各会議の議題に関連して、ご意見・情報などありましたら、宮私幼経営委員会までお寄せください。

地区	日時	会場	地区	日時	会場
仙台	8/９日（火）14：00	仙台市：旭ヶ丘市民センター	石巻	8/24日（水）11：00	石巻市：ひばり幼稚園
塩釜	8/10日（水）16：00	多賀城市：ホテルキャッスルプラザ多賀城	名取・岩沼	8/25日（木）15：00	岩沼市：岩沼南こばと幼稚園
大崎	8/22日（月）13：30	大崎市：芙蓉閣	仙南	8/26日（金）15：00	柴田町：熊野幼稚園
気仙沼・登米	8/23日（火）13：00	南三陸町：南三陸ホテル観洋			

研究委員会報告

研究委員長　小野寺　靖子

昨年より「同僚性」について研修を進めていますが、今年は５月の設置者・園長研修会に（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構副理事長の安家周一先生を講師にお招きして、園長先生方に向けて「同僚性」についてお話をして頂きました。先生は、－園長先生方のリーダーシップの下、職員が同僚性を発揮して園の課題に取り組むことで保育の質の向上に繋がる－。と、熱く語られ「サッカーでいうならば園長先生は監督ではなく、キャプテンとして一緒に試合に参加し、選手と共に考え、行動する役割」と話されていたことも印象的でした。さて、夏の研修会は会場を東京エレクトロンホール宮城に変更したことで参加者の人数調整をせずに希望通り参加して頂くことができました。研修別にみると「園内研修」や「ファシリテート」等、継続開催の研修も、年々受講される方が増えていることから園内研修の進め方やファシリテートに関心が高まっていることが伺えます。

幼児教育にも「質の向上」が求められています。「保育の質」とは何であるかについても探求していきたいと考え、３月の研究発表大会に向けて準備を進めているところです。

夏休み中も預かり保育などで忙しくしておられる実情の中、研修会への参加、また発表者の派遣等ご協力を頂けましたこと感謝申し上げます。

幼稚園訪問記

幼な子とともに

認定こども園 宮城学院女子大学附属幼稚園

〒981-0961
宮城県仙台市青葉区桜ケ丘９丁目１－１
幼稚園園児数　115 名
（3歳児 26 名、4歳児 42 名、 5歳児 47 名）

※平成 28 年９月１日現在

認定こども園 宮城学院女子大学附属幼稚園 では

７月13日（水）に、宮城学院女子大学附属幼稚園を訪問取材させていただきました。幼稚園に到着すると、玄関前の畑には、ズッキーニ・さつまいも・なす・とうもろこしなどたくさんの野菜がまるでお客さまを歓迎しているかのように生き生きと生長していて驚きました。園の周りは、森に囲まれ、子ども達は、自然の恵みをいっぱい受けながらのびのびと活動をしていました。

１．特　色

宮城学院女子大学の附属幼稚園として設立され、今年度で 60 周年を迎えます。聖書の教えに基づいた人間教育を理念としてきました。大学の桜ケ丘移転と共にキャンパス内に新園舎を建設「好きな遊び」を中心に野外遊びを取り入れた保育を行うようになりました。その園舎も 40 年を経過して老朽化し、今回、幼保連携型こども園として０～２歳児までを受け入れることをきっかけに、キャンパス内の森に隣接する場所に伊藤豊雄氏設計の新園舎を建設中です。

園長　沢田石道子先生（正面）

２．特に力を入れている保育

キャンパス内には手つかずの自然が残り、緑豊かな環境を活かした保育を日々展開してきました。

「野外遊び」を多く取り入れた保育は子ども達にとって心と体を健康にしていきます。往復 1 時間かけて歩いている遊歩道や「わくわくらんど」と呼んでいる幼稚園の西側斜面では、学びの芽生えを大切にして、溢れる好奇心を満たす保育が展開されています。

３．保育時間

１号認定の子ども　９:00 ~ 14:00
２号認定の子ども　７:00 ~ 18:00（延長保育 18:00~19:00）

４．預り保育

早朝　7:00~9:00　/　午後　14:00~18:00

５．給　食

１号認定の子ども：選択給食
２号認定の子ども：完全給食

幼保連携型になることで、今年度、管理栄養士を採用し、一部委託の形になっています。

11 月からは完全自園給食となります。

和食を中心とした給食の充実、午後は、手作りおやつの提供をしています。未満児入園後は離乳食も提供します。

６．新たな子育て支援

新たに地域に開放された子育て支援、児童クラブ、一時預かり保育 11 月から始める準備をしています。

７．バス送迎

2017 年度までバスの運行をします。現在 2 台のバスで４コース運行しています。

８．教育・保育目標

「思いやりのある子ども・明るく元気な子ども・
豊かに表現する子ども・意欲的に取り組む子ども」

森のこども園として野外遊びを中心とした保育が展開されます。豊かな自然の中だからこそ、幼児期から体験できる遊びは、子どもの心を育て学びの機会を提供してくれることと思います。

また、大学の人的資源を活かした保育も行います。音楽科の学生によるコンサートでは、本物の楽器の演奏に触れることができます。

幼保連携型　認定こども園に移行予定

本園は幼稚園型の認定こども園ですが、新園舎が間もなく完成し 11 月からは０～２歳児が入園して幼保連携型こども園に変わります。新園舎は宮城学院の森の中テニスコート跡地に建設されています。新に加わる ０～ ２ 歳児のこども達と共に、森の中の園舎で子ども達の豊かな感性と個性を育てていきたいと思います。

※　沢田石園長先生に修正・加筆していただきました。

（取材　関　澄子・鎌田　俊昭）

一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会　〒九八〇－〇八〇三　仙台市青葉区国分町三丁目六－十二　佐正第二ビル六Ｆ　（☎〇二二－二六三－七〇四〇）　編集・発行人　理事長　村山　十五